

令和 4 年度志摩市地域公共交通会議 第 1 回離島航路幹事会 議事概要

と き 令和 4 年 6 月 20 日（月）午後 2 時 30 分～

場 所 志摩市役所 4 階 401 会議室

【出席委員】

志摩市副市長	世古 勝
名古屋大学大学院環境学研究科 教授	加藤 博和
間崎自治会 会長	岩城 正幸
間崎婦人会 会長	山本 くに枝
間崎地区民生委員・児童委員	山本 幸保
三重県立水産高等学校 校長	向井 英規
一般社団法人志摩市観光協会 専務理事	岡田 英美
中部運輸局 三重運輸支局 鳥羽海事事務所 次長	中村 陽一
志摩マリンレジャー株式会社 取締役社長	矢尾 弘
三重県南部地域活性化局次長兼南部地域活性化推進課長	生川 哲也
志摩市産業振興部長	山本 和輝
志摩市政策推進部長	箕浦 勤

事務局	令和 4 年度志摩市地域公共交通会議第 1 回離島航路幹事会を開催させていただきます。 本日の志摩市地域公共交通会議離島航路幹事会の委員の皆様におかれましては、昨年度に委嘱させていただき、2 年間の任期でご就任をいただいておりますが、一部人事異動等により、委員の交代がありましたので、ご紹介をさせていただきます。 【2 名の委員交代を報告】 なお本日は委員 12 名のうち 12 名全員の出席がありますので、半数以上の要件を満たしているということで、志摩市地域公共交通会議設置要綱第 4 条第 4 項の規定に基づきまして、本会議が成立することを報告させていただきます。 また、本会議は同要綱第 4 条第 7 項の規定に基づきまして、公開で行いますので、ご了承ください。
事務局	それでは議事に入ります。会長につきましては、同要綱第 4 条第 2 項の規

	定により、会長が議長となることとなっておりますので、これからの議事進行につきましては、会長である世古副市長にお願いしたいと思います。よろしくお願いします。
会長	皆さんお世話になります。志摩市副市長の世古でございます。本日は、令和 4 年度志摩市地域公共交通会議第 1 回離島航路幹事会ということで、ご出席いただきまして、ありがとうございます。 本日の協議につきましては、報告事項が 3 件、協議事項が 1 件でございます。昨年度から、委員の皆さんより意見をいただいております、そのひとつひとつを、令和 4 年度に実行していくという強い思いを持って取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。 まずは報告事項（1）について、事務局より説明をお願いいたします。
事務局	資料 1に基づき事務局より説明
会長	島民以外の志摩市民及び観光客の利用が減っているという説明がありましたが、この部分について、内容の補足をお願いします。
事務局	資料 1-2 の「島民以外の志摩市民及び観光客」という部分について、明確な内訳は調査できていないのですが、交通事業者にも確認をさせていただく中で、例えば観光客でいえば、自転車が定期船に 5 台程度積めるということで、サイクリングでの利用があるということ、また、志摩市観光協会が運営する海女小屋体験施設「さとうみ庵」へ定期船とタクシーを使って訪れる方がいるということが分かっています。 島民以外の志摩市民については、定期を買うまでもない頻度で、和具から賢島へ通勤に使われる方、あとは電車との接続ということで賢島から電車を利用する和具からの利用などがあると把握しています。
会長	委員の皆様、先ほどの報告につきましてご意見、ご質問等ございましたらよろしくお願いします。
A 委員	「島民以外の志摩市民及び観光客」による利用状況の件ですが、正確に統計を取っていないので、肌感覚で申しますと、絶対数ではやはり、志摩市民の生活利用が多いのだと思います。ただ、利用状況の増減については、観光入込客が影響を与えていると考えます。

会長	他に委員の皆様、いかがでしょうか。
A 委員	データにおいて生活利用は、離島住民、学生通学、通勤のいずれの割合が高いと認識していますか。
事務局	学生通学の利用割合が高い状況となっています。
A 委員	間崎島住民に関しては、人口が減っていますが、人口減少以上に定期船の利用者が減っているのか、新型コロナウイルス感染症の影響により、平時であれば利用されている方が利用なくなっているのかなどを把握する必要があります。 通常、コロナ禍における公共交通の利用については、やはり観光利用が大きく減る。日常利用については、休校などがあれば学生利用は減るものの、その他の部分では大きく減ることはない。 また、お年寄りも、病院に行くのを控えるとか、回数を減らすことで、公共交通の利用が減るという一般的な傾向はある。 このような傾向と比べて、定期船の利用状況はどうかという視点が必要である。 令和 2 年から令和 3 年にかけての公共交通の利用は、通常、プラスになることが多いです。つまり、令和 2 年はすごく利用が落ちて、令和 3 年に回復傾向となるのが普通なので、もし間崎島住民に関する利用傾向がそうでないのであれば、間崎島の方にお聞きしたい。 あと、観光利用については、やはり下落している。この点はある意味深刻で、このまま放置すると非常にまずいことになる。 伊勢志摩全体を見たときに、伊勢市の公共交通会議や、鳥羽市の公共交通会議においても、観光地の駐車場は埋まるけど、電車で来る人が戻らないという傾向がある。志摩市も同じ状況なのであれば、近鉄（電車）との連携で定期船も利用してもらうような取り組みが必要で、定期船単体で利用促進の努力をしても難しい。 それには、鵜方駅や賢島駅の利用がどうなっているかというデータも併せて見ていかないといけない。その状況が解れば、対策の取り方も色々出てくるかと思います。
会長	ありがとうございます。 間崎島の皆様のご意見をお願いします。

B 委員	間崎島の定期船利用が少なくなったのは、3 年くらい前から、志摩病院が間崎島へ診察に来てくれるようになり、病院に出向く島民が少なくなったことも要因となっているのかもしれない。 また、確かに新型コロナの影響で、出かけるのが怖いという方もいるとは思いますが。 確かに、ここ数年は定期船利用が減っていると思いますが、島民も結構乗船しているように感じます。私はちょくちょく定期船を利用しています。
C 委員	間崎島では、買い物の支援の取り組みが行われているので、出かけない要因になっていると思う。
D 委員	年をとると、潮の満ち引きにより、船の乗り降りが怖いと言って、出かけなくなった人も多いです。 また、社協の買い物ツアーで間崎の島民が月 1 回程度ですが買い物に行きます。その時は、10 人ぐらいは参加します。 私も含め間崎島には船を所有している人がいるが、これからは間崎の人も年をとると、定期船を利用しなくてはいけなくなると思う。
C 委員	車と同じで、船を持っているとそちらを使う。だけど、自分で船を運転する人も減ってくるだろう。
B 委員	年をとると、出かけるのがおっくうになるのは確か。 和具の乗船場所にある、潮の干満に対応するための階段が鉄製であるため、雨の日は滑るので乗降が怖い。何とかならないだろうか。
D 委員	間崎の住民に定期船の利用を期待するのは、人口も減っている中で難しい。 代わりに、間崎島は、本島から近い島なので、その立地を活かした観光面での取り組みを考えてもらってはと思う。 大きな島ではないが、景色のよいところもいっぱいある。今は雑草が生えてしまっているようなところもあるが、何とか間崎の景色を人に見せたいという島民の気持ちはある。 私たちは船を持っていますが、年をとってくると船は操れないから、公共交通に変えるしかない。観光客を間崎島に入れ込むことで、様々な面で環境がよくなるのではないかと思います。 交通事業者にも観光面の取り組みを考えていただきたい。

B 委員	このごろは一般のお客が間崎を散策することも多い。 間崎で商売（キャンプ場等）をされている方もいるが、定期船を利用せず、事業者が所有する船で送り迎えをしている。 若者がキャンプ場に来ると、島民と会話をすることもある。
会長	どの程度の方が定期船で間崎島に来て、散策されているのでしょうか。
B 委員	ご夫婦などが、定期船で島へ渡り、島内を歩く姿をちょくちょく見かけます。
E 委員	交通事業者は、公共交通機関、交通手段の面での役割を担っています。 観光面における地域の対策、各支援、PR というのは、我々の役割とは少し異なるのではないかという認識でいます。 市が、市として全体的な観光 PR の中で位置づけることもできようかと思いますが、本日いただいたご意見も踏まえて考えていきたいと思っています。 観光利用客については、まず地域住民がいて、そこに行政が関わり、観光協会等と協力しながら取り組む、そのうえで、最後に、公共交通機関があるという認識でいます。
A 委員	それが典型的なパターンですから、公共交通事業者で、観光資源を発掘し、それを PR していくなど、全てを行うのは違うのかと思います。
D 委員	間崎には釣りに来る人が多い。特に土日は結構多い。
E 委員	以前より木製の階段があったのですが、老朽化しており危険ということで、今回の鉄製の階段に替えた。 しかしながら、乗降場所は港湾施設なので、設置主体については、協議をしておくべきだったと思っています。
会長	他にご意見はいかがでしょうか。
A 委員	観光客等の利用に関して、普通の切符で乗られる方が大半と考えていいですか。「まわりゃんせ」のような企画切符もあると思うのですが。
E 委員	大半が普通券になるかと思います。

A 委員	そうですね。 その点をどのように分析したらいいのかと思ってうかがいました。 間崎島が良いところという話がありましたが、間崎島が良いところだからということを知って来てくれる方はどれくらいいるのでしょうか。 あるいは偶然、間崎島を見つけて来てくれたのか。それにより、観光プロモーションの方法も変わってくるのだろうと思います。 キャンプの話もありましたが、キャンプ場利用者が定期船を使ってくれるとしたら一体何をやったらよいのか、そういうことを考えなければいけない。
事務局	ご意見いただきましたキャンプ場の件について、キャンプ場の方と我々もお話をさせていただいたことがあります。 専門学校が、20～30 人ぐらいで、環境活動のフィールドワークなどでご利用されているということです。 このような学生の離島への来訪に関しては、公共交通を利用していただけるよう、我々も事業者と連携を図っていきたいと考えているところです。
会長	鵜方駅等の利用状況についてはいかがですか。
F 委員	観光入込客数については、先日報道発表をさせていただいたところなのですが、コロナ前にあたる令和元年と、令和 4 年とを比較すると、概ね 7 割程度にまでは回復してきているのですが、駅の利用を見ると、まだ 5 割程度までしか戻っていないという状況です。 これは令和 4 年度 1 年間を通じて、どの程度まで利用が戻ってくるのかを、我々も注視していかなければならないところです。
会長	ありがとうございます。
A 委員	車の方だとこの航路に乗る可能性は極めて低いのではないのでしょうか。
E 委員	ほとんどの方が車で移動されますね。
A 委員	車を停めてまで定期船に乗るかということについて、私は乗る価値はあると思いますが、電車に乗って来てもらうのが一番よいのではないかと思います。
E 委員	5 月だけの数字ですので、通年の統計ではありませんが、普通券（大人）

	の利用について、和具～賢島で 412 名、間崎～賢島で 321 名、和具～間崎で 168 名となっています。合計 901 名で、和具～賢島の乗船客と、間崎～賢島間の乗船客の割合は約 4 対 3 になっています。 この数字から、賢島から間崎島へ行かれる方が決して少なくないということが分かります。
D 委員	間崎の人は賢島へ行くことが多いです。病院も買い物も賢島へ行きます。和具は、スーパーマーケットまで遠いです。 そのような傾向が間崎の島民にもあります。
A 委員	島民の利用は別のデータになりますか。
E 委員	島民は回数券の利用者数に入るので、先ほど説明した数字（普通券）には含まれません。
D 委員	島民以外の一般の方の利用も以前と比べると増えたのではないのでしょうか。普通券で魚釣りに来る人も多いのです。
A 委員	今年のゴールデンウィークの利用は好調だったかと思いますが、以前の水準までには戻っていないのではないのでしょうか。
E 委員	それでも良くなっています。 4 月の利用者で、前年 650 に対して今年は 700、5 月では前年 696 に対して今年は 970 となっています。昨年 5 月は愛知に緊急事態宣言が出ていたという状況はありますが。
会長	まずは、和具～賢島航路の現状について報告をさせていただきました。 続きまして、報告事項（2）、志摩市高校生等航路通学支援補助金について事務局から説明をお願いします。
事務局	資料 2に基づき事務局より説明
会長	ただいまの説明につきまして、委員の皆様、ご意見ご質問等あればよろしくをお願いします。

G 委員	運賃の値上げに伴い、定期券の値上げ差額分を、志摩市が補助するという理解でよいか。
事務局	定期券の値上げに伴って、路線バスとの比較において、その差額を市が補助するというものです。
G 委員	この補助により、バスで通学されていた学生が、定期船に変えたという状況もありますか。
事務局	今年度から開始した事業ということで、その点については、まだ把握できておりません。
会長	他にご意見はいかがでしょうか。
A 委員	これはとても大事な施策で、効果をしっかりと分析していかなくてはなりません。 値上げによるとのことであつたが、この施策により、利用者の実質負担が今までより減ったのであれば、しっかり伝えるべきである。 また、この施策の情報が、利用される方にしっかりと伝わっているのかが心配される場所である。いかがでしょうか。
H 委員	4 月当初、高校に市の担当の方が来てチラシをいただいた。 新入生中心にそのチラシを配布させていただきました。 先週の金曜日に、定期船を使っている生徒を調べさせていただいたところ、14 人でした。
会長	また事業の進捗に応じ、効果検証も行い、ご報告させていただきたいと思います。
A 委員	本当に定期券を買って通学して欲しい人が、定期券を買ってくれているのか、興味があるところです。そこは交通事業者でも解らないところで、学校の方が解っているのではないのでしょうか。
E 委員	そうですね、やはり学生の居住地にかなり影響されます。
A 委員	定期船の利用が想定される地域から通学している学生に、しっかりと定期

	船を利用してもらえようにすることが重要です。 また、そのような地域に住んでいる学生に、定期船で通えるので、水産高校に入学してと勧誘することもあるかもしれない。
E 委員	航路存続の観点から言いますと、学生の通学定期は、国交省の補助基準を加味すると、最終的にマイナスの方向に働いています。 実は、定期券利用が増えれば増えるほど、最終的には赤字額は広がっていく勘定になります。 定期券について、国交省の観点では、全て普通運賃により収入があったものとしてみなされ、補助金額が算定されます。一方で、学生からは割引した定期券料金しかいただいていないので、定期券を買っていただければ買っていただくほど、最終赤字が膨らんでいくという状況があります。
A 委員	その点は、鉄道も全く同じで、定期券割引は交通事業者が自主的に行っているものであるという考え方なのです。 これは、鉄道の存続問題にもなっており、私が参加している検討会でも、私は学生定期を廃止すべきではないかと言っている。 理由は、事業者が定期として割り引く必要があるのかという点、むしろ、行政が補助金等で割り引くべきではないかという点にあります。
E 委員	少なくとも現状の国の補助スキームでは、あまり定期券の利用を促進するプロモーションは控えていただきたいというのが本音です。
A 委員	高校生等の定期船利用を促進することが、補助金の面ではむしろマイナスの影響が出ていることは、国交省の補助担当課長に後で伝えておきます。
E 委員	本件については、この後、志摩市ともよい方法がないか協議をすることになっています。
A 委員	本件はとても重要です。今、学生割引の是非が、かなり問われている時代になってきているので、(学生定期券に) 補助をするかたちにして、通常の(運行に対する) 補助は、普通運賃を上げるかたちをとった方が、全体として整合がとれるのではないかということは、今まさに言われています。
会長	他にご意見がなければ、報告事項(3)に移りたいと思います。 報告事項(3)について事務局より説明をお願いします。

事務局	<u>資料3</u> に基づき事務局より説明
会長	ご質問ご意見等ありましたらよろしくお願いします。 特にないようですので、続きまして協議事項「生活交通確保維持改善計画の策定について」、事務局及び関係の皆様から説明をお願いします。
事務局	<u>資料4</u> に基づき事務局及び交通事業者より説明
会長	ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等あればよろしくお願いします。
G 委員	先ほど話にあった、和具の乗り場に係る、潮の満ち引きに対する階段の経年劣化への対応は、どれぐらいの費用がかかったのですか。
E 委員	数万円の費用です。
G 委員	わかりました。 賢島は浮棧橋があるのですが、間崎と和具は船首着岸で、船首からお客が階段を使って乗降します。水産高校の学生のように、若い方であれば問題はないのですが、高齢者に関しては階段が怖いという意見も先ほどありました。また、サイクリングでの定期船需要もあるとのことでしたので、それらを踏まえると、船首着岸の方式よりも、浮棧橋の方式も考えないといけなのではないかと思い質問しました。 費用もかかる話なので、簡単な話ではないことは理解しています。
会長	定期船の乗り入れには、様々な形式があると思いますので、市も研究させていただきます。確かに費用面の課題はありますし、港湾管理者が三重県になろうかと思われる点もありますので、三重県と協議をしながらということにはなろうかと思いますが、ご意見の通り、安全安心に乗降できるということは、大変大切な視点だと思います。
会長	計画の内容で何かご意見はありますか。
A 委員	計画の冒頭の部分については、冗長を避け、地域公共交通網形成計画との

会長	関係を正しく説明された方がよいと思います。 また、「9.協議会の開催状況と主な議論」の部分には、地域公共交通網形成計画策定時に検討を行った会議体についても触れていただきたい。 他にご意見はよろしいでしょうか。 それでは、委員の皆様からいただきましたご意見につきましては、事務局により整理を行い、「9.協議会の開催状況と主な議論」に反映させていただきます。 ご意見の整理については、事務局一任として、ご承認いただけますでしょうか。 (異議なし) ありがとうございます。ご承認いただけたということで、本会議設置要綱第6条第4項の規定により、地域公共交通会議の決議とさせていただきます、本計画につきましては、国土交通省に提出をさせていただきます。 それでは最後にその他について事務局から何かあればお願いします。
事務局	次回、地域公共交通会議の開催予定ですが、陸上交通も含めた全体会として、8月の末、あるいは9月の上旬をめどに開催をしたいと考えております。 改めて皆様にはご案内をさせていただきたいと思っておりますので、その際はよろしくお願いをいたします。
会長	それでは以上をもちまして第1回の離島航路幹事会を終了させていただきます。